

2014年5月7日

報道関係者各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

富士吉田・湧水の魅力発掘ペーパー「水のまち、水のひと」を発行しました

慶應義塾の社会・地域連携活動に関する取り組みのひとつとして、湘南藤沢キャンパス（SFC）の学生と玉村雅敏（総合政策学部准教授）研究室が行った富士山麓（山梨県富士吉田市）の地下水を用いた地域活性化に関する調査研究や、鹿園直建名誉教授（元理工学部教授）による富士吉田市の地下水の水質や年代等に関する調査研究の成果をもとに、富士吉田の水の魅力を地域内外へ発信する冊子を発行します。

【経緯】

慶應義塾では、2007年に山梨県及び富士吉田市と連携協定を締結し、富士北麓の環境や文化を基軸とした、地域づくりや実学の促進を行なっています。具体的な活動として、富士吉田市における研究フィールドワークをはじめ、各種の共同研究・連携プロジェクト、大学院のフィールドワーク授業、農業体験学習（湘南藤沢中等部）などを実施してきました。

その一環として「富士吉田市の地域活性化に関する調査研究」を行なってきた SFC の学生たちが、地域の産業や生活を支えてきた資源である「水」の潜在力に着目し、「水」を通じて地域への誇りや愛着度を高める方策の提案を行ないました。この提案では、地域の人々が日常的に接する水の価値を見直し、再認識する機会をつくることで、水とともに発展するまち富士吉田の魅力発信の基盤をつくることを目指しています。その第一段階として、地域で生活する人々に向け、鹿園名誉教授による調査研究からわかった水の特長や価値、水にまつわる地域の方の思い等を伝える冊子「富士吉田・湧水の魅力発掘ペーパー『水のまち、水のひと』」を作成しました。冊子は富士吉田市広報と一緒に市内に全戸配布されるほか、市内観光拠点や生活施設等への設置を予定しています。

【冊子概要】

(1) 形態

タブロイド版 8ページ

(2) 印刷部数

20,000部

(3) 配布

- ・平成26年5月号富士吉田市広報と一緒に全戸配布
- ・市内観光施設、図書館等への設置（予定）

(4) 内容

<水に関するコラム>

- (1) 原水がきれいな富士吉田の水道水
- (2) どうやって年代を測定するの？
- (3) 道の駅の水汲み場は観光客に大人気！
- (4) もっともっとおいしく！水の生活への役立て方
- (5) 水に育まれた富士吉田の織物

<水にまつわる地域資源や人々の思いに関する記事>

I 水が食を豊かにする

- 富士吉田の水で茹でた自慢の麺（桜井うどん）
- キューピーが選んだ炊飯の水（キューピー富士吉田）
- 水が豊富な土地の「水かけ」栽培（水かけ菜）
- ドイツ人ビールマイスターが認めた水（ふじやまビール）
- 富士山の水で作ったハイボール（やみつぎ）
- 清らかな水で育つ高級米（武藤商会）
- 生で美味しい！富士吉田のニジマス（山口養魚場）
- うどんのまちのそば屋さん（而今庵）
- 地域住民の生活に根付く湧水（西町出水湧水）

II 水が地域をつくる

- 北斎が愛した蓮の花咲く禊の場（明見湖）
- 住民の手で守られてきた山の秘湯（不動湯）
- やりたいことができるまち、富士吉田へ（富士吉田みんなの貯金箱財団）

III 水が文化をはぐくむ

- 吉田胎内の水で安産祈願（胎内樹形）
- 富士信仰を支える禊の川（ヤーナ川）
- 蚕の神様が宿る滝（白糸の滝）
- 富士登山の出発点で身を清める（北口本宮富士浅間神社）

IV 水が誇りを高める

- 安政3年創業、江戸時代から続く温泉（葎之池温泉）
- 世界トップシェアを誇るシチズン電子の生産拠点（シチズン電子）
- 織物産業の秘密は水にあり（富士工業技術センター）

<調査の様子>



【参考】慶應義塾大学 SFC 玉村雅敏研究室が発行した、地域の魅力を示すコンセプトブック（2013 年度）



- その地域外で生活する者だからこそ気づく地域の魅力を再編集した冊子を発行し、地域住民に配布。住民が参加するワークショップ等でも活用。
- 地域ブランドやシビックプライドの根幹を確認するものを可視化し、その地域なりの特性があるフードビジネスやコミュニティ型のマーケティングモデルを考えるときの基盤になるものとして作成。

本発表資料に関するお問い合わせ先

慶應義塾大学 SFC 研究所（玉村研究室） E-mail : tama-sec@sfc.keio.ac.jp（担当：菅井）

問い合わせ先（TEL : 03-4590-0444 FAX:045-330-4343）